

(様式例1)

平成30年度 自己評価・学校関係者評価

I 自己評価

岐阜県立高山工業高等学校

学校番号

59

| | |
|----------------|---|
| 1 学校教育目標 | (1) 知・徳・体の調和のとれた個性豊かで明朗快活な人間性を育成する。 (2) 基礎的・基本的な学力を身に付けさせるとともに、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成する。 (3) 勤労を尊び、たくましく生きる力を身に付け、工業を学ぶことに誇りと自信を持たせる。 (4) 学習指導および部活動指導等を充実し、文武両道に活躍できる生徒を育成する。 |
| 2 現状の分析 | ○明るく素直な生徒が多く、挨拶、礼儀、身だしなみ等は概ね良好で、安定した学校生活を送っている。 ○積極的に資格取得やものづくりに取り組み、習得した知識や技能を生かして進路目標を達成するとともに地域社会にも貢献している。 ▲義務教育段階の基礎的な学力や学習習慣が身につけていない生徒が多く、安易に妥協したり、あきらめたりする生徒が多い。 ▲指示されたことはできるが、状況に応じて対応する力に欠ける。また、発達障がいのある生徒や疑いのある生徒が増加している。 |
| 3 学校の抱える課題 | ・専門的な知識や技術で地域に貢献する人材を育成するため、前提となる義務教育段階の基礎学力の確実な定着を図る必要がある。 ・個に応じた指導をさらに進め、生徒が自ら考え、行動する場や機会を積極的に仕組んで、自己実現力の育成を図る必要がある。 ・飛騨地区唯一の工業高校として、地域と連携し、ものづくりをとおして地域と一体となった人材育成を図る必要がある。 ・本校の特色ある取組や成果について、保護者、地域、小・中学生及びその保護者に対してさらに周知を図る必要がある。 |
| 4 今年度の具体的な重点目標 | ・授業改善に努めるとともに生徒一人一人の学習意欲を喚起し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。また主体的な学習態度の育成に努める。 ・倫理観や規範意識の醸成と主体的に判断し、行動できる能力を育成する。 ・発達段階に応じたキャリア教育を推進し、主体的な進路選択ができるよう指導の充実を図る。 ・地域社会に貢献できる人材の育成に努め、地域や各種関係団体等と緊密に連携し、一層開かれた学校づくりを推進する。 |

| 年 度 目 標 | | | 年 度 末 評 価 | | | |
|-----------------|---|--|---|-----------------|---|-------------|
| 5 評価項目 領域・分野 | 6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策 | 7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標 | 8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等 | 9 評価 A・B・C・D | 10 成果と課題 | 11 総合 評価 |
| 学習指導 | ① 積極的な授業改善への取組による基礎的・基本的な学力の定着 (自学ノートの実施など) | ① 授業アンケート調査、定期 考査得点状況、課題・自学 ノート等の取組状況など | ① 高工ユニバーサルデザインによる授 業改善、補習・補充の実施、自学ノ ートの確認、など | A | ○公開授業の実施等による授 業改善への取組 ○個に応じた指導の充実 | A |
| | ② コミュニケーション能力と問題 解決能力の育成 (研究指定事業の活用など) | ② 研究指定事業への評価と分 析、商品開発状況、販売実 績、販売時の接客状況など | ② 言語活動を取り入れた授業の実践、 地域連携事業による商品開発、知財 教育の推進など | B | ○生徒の主体的学習活動への 援助 ▲家庭学習習慣の確立 | |
| 生徒指導 | ① 規範意識の向上 (生徒会主導の挨拶運動、共通理 解に基づく身だしなみ指導など) | ① 身だしなみ指導の状況、迷 惑調査の結果、生徒の出欠 状況など | ① 生徒会と連携した挨拶運動の推進、 MSリーダーズ活動への支援、ネッ ト・スマホに関する指導など | B | ○交通事故件数、問題行動等 の発生件数の減少 ○個に応じた生徒指導の充実 | B |
| | ② 個に応じたきめ細かな指導 (生徒理解に関する職員研修、ケ ース会議、SCへの相談など) | ② 担任等との面談状況、ケ ース会議の実施状況、外部専 門家の要請の回数など | ② ケース会議の実施、外部の専門家 の活用、個別の教育支援計画作成、職 員間の情報共有など | B | ▲配慮が必要な生徒への対応 ▲SNSの使用方法も含めた 自己指導能力の育成 | |

| | | | | | | |
|------|--|---------------------------------------|--|---|---|---|
| 進路指導 | ① 専門的技術の向上 (高度な資格取得の推進、各種コンテスト等への挑戦など) | ① 資格の取得状況、ものづくりコンテストやパテントコンテスト等の成績など | ① 進路講演会等実施、高度な資格取得の推進、ものづくりコンテストに向けた外部講師活用など | B | ○生徒・保護者への情報提供や意識啓発事業の実施 ○離職率調査の実施 | C |
| | ② キャリアプランニング能力向上 (進路ノートの活用、企業見学、進路先研究の徹底など) | ② 企業見学の実施状況、卒業生と語る会の実施状況、卒業生の追跡調査など | ② 進路ガイダンス、企業見学、インターンシップ、PTフォーラム、公務員セミナー等の実施など | B | ▲コミュニケーション力育成 ▲進路設計の不十分な生徒への対応 | D |
| 学校経営 | ① 社会貢献活動の推進 (工業技術を生かした地域への貢献、ボランティア活動など) | ① 活動実績、報道機関からの取材、新聞等への掲載回数など | ① 高山市と連携したものづくり体験教室、生徒会を中心とした市議会や特別支援学校等との交流活動など | A | ○地元との連携 ○各種社会貢献活動の推進 ○積極的な広報活動の推進と内容や在り方の検討 | |
| | ② 広報活動の充実 (学校紹介DVDの配付、TV会議、積極的な情報提供など) | ② オープンキャンパス、一日入学への参加者数、進路希望調査での希望者数など | ② 学校紹介DVD、本校の活動状況紹介冊子等を中学校へ配付、中学校での作品展示、学校説明会の実施など | A | ○中学生の進路希望調査結果による志願者の増加 | |

II 学校関係者評価

実施年月日：平成31年1月26日

12 来年度に向けての改善方策案

- ・各分掌とも適切な取組がなされており、各種取組が順調に成果を上げていることがわかった。卒業作品展でも商品化できるくらいに完成度が高い作品もみられ、日頃の教育活動の充実ぶりがうかがえる。
- ・地域連携による活力ある高校づくり推進事業や知的財産教育事業を通じて、地元の各機関と連携が深まり、地域の課題をものづくりで解決する新たな提案も進められるなど生徒の成長の様子がうかがえる。また、近隣小学校と連携してプログラミング教育指導カリキュラム開発が計画されており、地域からの評価も上がっている。
- ・少人数や習熟度別授業が理解につながったと回答する生徒が9割を超え、進路模試等から基礎学力の定着、伸長もうかがえる。今後も授業改善に努めてほしい。
- ・各種広報活動が漸く功を奏して志願者増につながった。今後も継続してほしい。

- ・学習指導要領改訂に伴い、主体的・対話的で深い学びの実践に向けた授業改善を図る。
- ・次年度から整備されるICT機器を活用した効果的な授業の在り方を研究する。
- ・「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」、「知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業」の活動成果を踏まえ、地域貢献につながる一層の事業推進を図る。
- ・義務教育段階の基礎学力が定着しておらず、学習習慣も身につけていない生徒に対し、個に応じたきめ細かな指導とともに、組織的な支援を充実する。
- ・発達障がいのある生徒への個別的教育支援計画を含む支援体制の充実を図る。
- ・自己指導能力を高めるため、生徒が自ら考え、行動する場や機会の増加に努める。
- ・進路講話、進路ガイダンス、企業見学等の積極的実施し、キャリア教育の一層の充実を図るとともに、コミュニケーション能力の一層の育成に努める。